



平成22年事業計画

ネパール事業

- ・ エル・エンジェル校運営継続
- ・ 給食・英語図書の補充・パソコン追加生徒招聘増設
- ・ ゴルメスワリー校運営協力継続・図書本の充実
- ・ ミルク・肝油の配給・医療ケア
- ・ シュリ・マンダリ・テビ校(ドリケル地区の学校)教室増設・トイレ設置
- ・ 合同競技大会開催
- ・ 3校生徒に文具類支給

インド事業

- ・ スリカクラム地区の孤児院運営
- ・ バラオム村診療所運営支援

国内事業

- ・ 招聘のエル・エンジェル生徒の国内滞在中のサポート
- ・ パネル展開催
- ・ 国内外大地震災害見舞い
- ・ 活動に必要な支援金の確保
- ・ 「ボランティア便り」の発行・配布

全て、みな様の善意に支えられてのボランティアです。ご協力お願いします。

5月23日理事会及び総会が行われました。

☆ 祈る唇よりも 奉仕する手の方が尊い



サントス君



ハリクリ
シュナ君



スパッシュ君



スダーさん



サンギーターさん

生徒達は成績優秀者です。学校では理系の子は毎朝五時に起き、六時から、その他の子は七時から四時まで学校で学んでいるとの事、先生とも勉学に熱が入った話を聞き、優秀校と云われる由縁が先生も生徒もこんなに努力があったと、このことを改めて知らされました。ラマチョール村の特別枠で来た生徒は短期間で成績が急成長するほどに努力して来日を獲得しました。

今年若い人達が中心となり、きめ細かな計画のもと頑張っており、大勢のボランティアの方々のお陰で意義のある来日があったと深く感謝申し上げます。

第五回エル・エンジェル校五名学びの旅

平和都市広島訪問

生徒達は成績優秀者です。学校では理系の子は毎朝五時に起き、六時から、その他の子は七時から四時まで学校で学んでいるとの事、先生とも勉学に熱が入った話を聞き、優秀校と云われる由縁が先生も生徒もこんなに努力があったと、このことを改めて知らされました。ラマチョール村の特別枠で来た生徒は短期間で成績が急成長するほどに努力して来日を獲得しました。

今年若い人達が中心となり、きめ細かな計画のもと頑張っており、大勢のボランティアの方々のお陰で意義のある来日があったと深く感謝申し上げます。

ボランティアの皆さんと共に「しあわせになるように」を英語で歌いました。広島の平和公園で平和を願いながら歌った歌声は、地球上を優しく包んでくれたように見えました。このことは五月十四日の中国新聞に、写真入りで掲載されました。世界遺産である宮島には、川を下る船に乗って行きました。ちょうど大潮で潮が引いたので、生徒達は鳥居の下まで行き蟹や貝わかめ等を見つけ生まれて初めて見た海の底、砂の上を歩いたことを喜んでいました。

マツダミュージアムでは、工場従業員が、動くコンベアに乗った製品を組み立てている様子、ロボットの働く様子を食い入るように見ていました。生徒達は、皆元気でそして、離れたがたい心、そして笑顔を残して次の目的地小田原へと出発されました。ありがとうございました。



交流会

生徒が広島方面から移動し、首都圏訪問初日、生徒五名を含む四十名弱の参加をもって、交流会が行われました。“交流会”と題する会は、今回が初めての試みとなりました。交流会の目的は三つ。

一・初めて出会う生徒達と首都圏ボランティアスタッフとの間にある“緊張”を溶かすこと。

二・我々日本人が、ネパールからの生徒を知り、又生徒達には日本を、そして我々を知ってもらう事で、お互いの距離を縮め、生徒達が、日本滞在をより安心して、喜びを持って楽しいものにして貰うため。

三・生徒達に与えられたこの日本訪問という貴重な機会を、ただの旅行”としてではなく、これからの生徒達の輝く将来への、そしてネパールを変えていくエネルギーを創造する為の“種子”となるような、意識改革を念頭に置き、今回の訪問の目的を明確に生徒達に伝えること。まず会の最初に行った“尻相撲”ゲームでは、生徒が、強そうなボランティアスタッフを自ら選び、チームを組み、トーナメント方式で進めました。あちこちで歓喜の声や、笑い声が上がリ、一気に緊張が溶け出したように思えました。笑顔や互いに知ろうとする心は、言葉や国籍という垣根をいとも簡単に越えることが出来るのだと改めて感じました。

そして、次に“スイーツデコ”作成として、フォトフレームやボールペン、手鏡等を菓子に似せたパーツで飾り付けました。必死に手先を動かして、自分のイメージで物を創造していくという作業を生徒達とボランティアスタッフが共に行うことで更に絆が深まったような気がしました。そして、生徒達の自己紹介では、生徒達の家族構成、エル・エンジェル校までの通学状況、母国ネパールの誇れる場所、日本という国に対する第一印象、そして彼らの将来の夢等を生徒達は緊張の面持ちながらも真剣に語ってくれました。将来の夢では“天文学者または宇宙飛行士”“エンジニア”そして“医師”“看護婦”等の夢を語ってくれました。今回の日本という先進国への訪問が、その彼らの夢を実現させる為の大きな動機付けになることを心から願います。それから、交流会の三つ目の大きな目的である、訪問目的の明確化。日本訪問に際して（生徒達のミッション・使命）として、目的意識を持つ重要性を説明しました。また、生徒達の観光訪問予定地にしても、簡単な見所案内と共に、どんな意識を持つて見学をすればいいかの指針となるよう、生徒達にたくさん“宿題”を課しました。この交流会の最後には、生徒達が踊りや歌を披露してくれました。四時間に渡る初めての交流会は生徒達とボランティアスタッフの積極的な参加・協力により、学

び多く成功裡に無事終了しました。その後六十名以上の方々と共に、ウエルカムパーティーが催されました。



交流会でのスイーツデコ作り

住んでる子が、日本の大都会の中にボンといる心細さ、仲間である他の子とはカーストという大きな隔たりがあり、打ち解けてないように見えました。ネパール、インドのカーストは私達には理解できないことですが、その中で育った子供達にとってそれぬきでは考えられないことなのでしょう。空港から乗った電車の中強張って冷たくなった手をにぎりしめ、暖め、背中をなで大丈夫だとずーとそばにいることで心がゆるくなってきたように思え、日本人に対しても笑顔をみせるようになりました。

神奈川のウエルカムパーティーで、ハリクリシュナは現地の民謡のようなゆったりした歌を歌ってくれました。濁りのないまっすぐな歌声は我々日本人ボランティアスタッフの心に深く染み入るものでした。たくさんの方が涙を流されるほど聞き入っていました。心を開き感謝の心で歌ってくれたものと思います。彼の成績は下から十三番目だったそうです。それが頑張れば日本に行けると聞いたとたん猛勉強し、Aを取るまでに急成長しました。どんなに努力したことでしょう。努力の大切さを教えてくれました。

その後日本で彼が見たもの、聞いたもの驚きの連続だったことでしょう。彼の人生に大きな大きな変化があったことと思います。また他の生徒も日本でたくさん学んだと思います。彼らの来日が心に刻まれエル・エンジェル校に反映されることを願います。

あのラマチャール村の

ハリクリシュナ君

生徒達が関空に姿を見せました。どの子も緊張している様子です。夢膨らませ、この日が来るのをどんなに待ち望んでいたか、特にラマチャール村の待生ハリクリシュナ君は手が強張り緊張しすぎたためか体調を崩していました。今は豊かになってきたとはいえず、マチャール村の小さな小屋のような家に

日本科学未来館

最先端技術と触れ合える科学未来館は科学者・宇宙飛行士・技術者になりたい男子には夢のような施設です。ヒューマノイドロボット「アシモ」の軽快な動きには感嘆の声。触ると目を細め表情をつくるセラピー用ロボット「パロ」に生徒たちも思わず微笑みます。国際宇宙ステーション内では宇宙の仕組みや宇宙飛行士の活動・個室内部・宇宙食など機能的な構造を食い入るように見つめ、係員に質問、メモも細かく取って、いました。

医者・看護師を目指す女子はロボット技術を駆使した手術支援システムを使つての手術を何度も繰り返していました。実物大の人体模型臓器の形のパズルや脳の内部の模型パズルにも挑戦していました。

優秀な生徒達、科学館でも学ぶ姿は真剣で貪欲です。

エル・エンジェル校は一年生より英語を学び九・一〇年生はパソコンを取り入れた授業を実施しているのでも色々なことを検索し学ぶことはできますが、科学未来館において学ぶことの出来る最先端技術、貴重な体験を数々できたと思います。この体験を活かしネパールの将来をになう「使命を胸に」向かって歩み続けることを願っています。

次号にて杏林大学病院見学等、その他のお知らせを予定致しています。



アームロボットで手術中

視察船で

東京都港湾局の視察船に乗船し東京湾をめぐる生ごみを埋め立てた夢の島の現状や風車による発電等環境問題を考える見学もしました。子供たちはそれぞれに何を学んだことでしょうか。感想文が楽しみです。



「視察船」のりば

孤児院便り (インド)

子供からのお手紙が届きました！

K・Harilaksami

二〇一〇年の五月よりスリカクラムの地域の新しいチャイルドホームに移りました。新しい孤児院は床がきれいであり、化粧テーブル、今まで持ったこともない個人ロッカーもある。部屋には四基の天井ファンが整備されている。オープニングには日本人ボランティアが多く来られて、沢山のプレゼントをいただきました。また、私達に編み物を教えてくれました。将来、技術者になって皆を助けてあげたいと思います。

一層の寄付に

ご協力を！

当協会はネパール、インドで学校・孤児院、図書館、診療所あるいは教室増設などの建設、運営支援を継続してきました。活動を進めていくには多額の費用が必要であり、これ迄皆さまからの寄付金に加えて関連独立行政法人及び民間助成団体の助成事業に積極的に応募し、助成金も活用させていただきました。昨年から助成事業の縮小傾向が顕著となり、今まで申請してきた助成団体では今年度からはさらに中止または縮小する方針で、助成金の確保も難しくなってきました。

今後も、ネパール、インドの子ども達や孤児たちの支援ほか国内外の活動を計画通り進めていくには、活動資金が必要であり、今まで以上に皆さまからのご寄付を賜りたく、一層のご協力をお願い申し上げます。

集ふ子に 安らぎの風

涼しかり

子ら唄ふ タゴール賛歌

椰子の風

孤児院にて 昭久

タゴールインド国歌の作詞家



現地を訪ねた方々はご存知でしょうがネパールはまだまだ貧富の差がかなり激しく、エル・エンジェル校の給食、グルメスワリー校の肝油、ミルク（一杯のミルクを大切そうに飲んでいた子供の姿が目につかびます）ドリケルのデビ校への支援などが山積みしています。ご理解いただき、ご支援をお願い申し上げます。

テレホンカードと

書き損じハガキで飢えを救う！

の、お願いをしてから1年が経ちました。

皆様のお心で集まりましたテレホンカードは50度309枚、105度26枚、書き損じハガキ4,703枚、その他に切手や商品券・図書カードなど、換金できました金額合計は528,186円です。その中にM様よりお父様の遺品である金貨を「お役に立てて頂きたい」と、ご寄付いただきました。これらのお心で多くの子ども達に給食や、栄養補給の肝油と牛乳を支給できています。

又、町田ボランティア協議会の定例会では町田市点訳赤十字奉仕団の皆様が、毎月のようにご寄付くださいます。「飢えを救いたい！」その心がボランティアグループの垣根を越えて継続して支援して下さることを嬉しく思います。

当初「100円で4人の子ども達が牛乳とパンを食べることができません。」と、お知らせしましたが、ネパールの物価が上がり、今では3人になりました。集めていますテレホンカードは使用中でもかまいません。

「飢えを救う！」これからも給食支援を続けていくためにもご協力よろしくお願い致します。

お礼

社会福祉法人 進和学園

本人自治会連合会の皆様より今年度も御寄付をいただきました。

エル・エンジェル校・サンデベシ校の進和ライブラリーは内容も充実し生徒も大変喜んでおります。毎年御支援いただき、深く感謝申し上げます。

学校法人 平和学園様

より今年も献金のご寄付をいただきました。貴重なお志はネパール国ゴルメスワリ校生徒へのミルクや肝油の配給などに使わせていただきます。

毎年ご支援いただき心から感謝申し上げます。

二十一年度事業お礼

平素、協会のボランティア活動にご賛同、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年度もネパール、インドにおいて学校・孤児院運営、子ども達との交流、孤児院建設等数々の

活動を年初計画にそって達成することができました。これも皆さまからの貴重なご寄付によるものと心より感謝申し上げます。

お願い

ネパールの生徒達のプレゼントにと本の付録についているバックやポーチやひざ掛けなど多くの物を送っていただきました。付録と思えない立派なものですが、どれも女子のものが多く、生徒達の半分以上いる男子のものが不足しております。ご支援いただけますよう宜しくお願い致します。

お知らせ

ネパールボランティア旅行を十一月二十日(土)〜十一月二十八日(日)まで予定しております。成田発・福岡発です。皆様のご参加をお待しております

支える会より お願い

七月三十一日(土) 午後五時〜九時半
八月一日(日) 午後五時〜九時半
町田成瀬台夏祭り

くじ引きや手づくり品の販売をします。子供達が喜びそうな景品・おもちゃ・遊戯玉カード・ポケモンカードと手作り品をご寄付いただきますようお願い致します。

編集後記

皆さまに読んでいただき、ご協力をいただけるボランティア便りになるよう頑張りますので、今年度もよろしくお申し込み申し上げます